

平成 28 年 3 月 4 日

会 員 各 位

構 造 懇 話 会
会 長 森 川 英 典

第 481 回 構造懇話会 平成 27 年度 例会のご案内

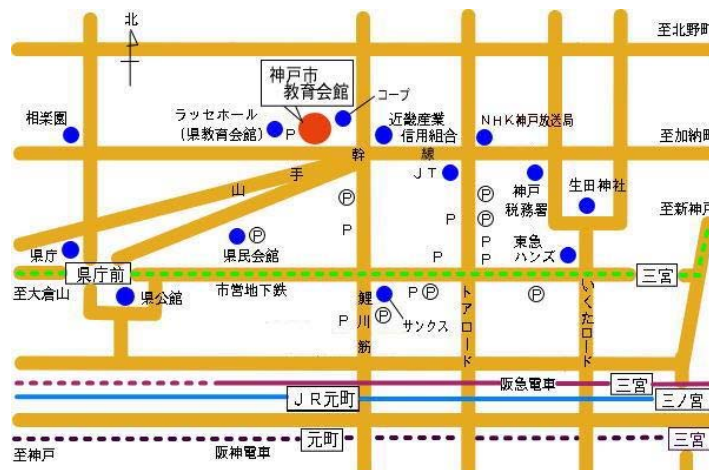
構造懇話会の運営に際しまして、日頃よりご支援賜り、誠に有難うございます。
標記の平成 27 年度 例会を下記のとおり開催いたします。
つきましては、多数ご出席下さいますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 平成 28 年 4 月 18 日 (月) 13:30~16:30
2. 場 所 **神戸市教育会館 404 号室**
神戸市中央区中山手通 4-10-5 TEL 078-222-4111
3. 議 題
 - 1) 運営委員会 13:30~14:20
休憩 14:20~14:30
 - 2) 例会 ①部 14:30~15:25
『 本州四国連絡橋保全の現場から -200 年以上使われる橋を目指して- 』
ブリッジ・エンジニアリング 西村 徹也 氏
休憩 15:25~15:35
 - 3) 例会 ②部 15:35~16:30
『 ダンバー材を用いた V 脚ラーメン橋の耐震補強について 』
エース 秦 康博 氏

[連絡先] 〒550-0013 大阪府大阪市西区新町 2-20-6
株式会社 長大 秋永 高史
TEL : 06-6541-5796 / FAX : 06-6541-5486 / e-mail : akinaga-t@chodai.co.jp

[案内図]



構造懇話会 URL <http://www.kozokonwakai.org/>

第 481 回 構造懇話会 例会での報告概要

1. 例会 ①部 『 本州四国連絡橋保全の現場から -200年以上使われる橋を目指して- 』

1) 報告者

株式会社ブリッジ・エンジニアリング 技術事業本部 調査開発部 西村 徹也 氏

2) 報告内容

本州四国連絡橋は本州と四国を結ぶ3つのルートを吊橋10橋、斜張橋5橋を含む瀬戸内海を横断する長大橋梁群で構成され、1999年までに全ての長大橋が完成している。各橋梁は開通後37～17年経過しており、本格的な維持管理の段階を迎えている。

本報告では、海上という厳しい自然環境下で200年以上の長期にわたり、この長大橋梁群を健全に保つことを目指し、本四高速道路グループ会社の一員として取り組んでいる点検や補修などの保全業務の基本的な考え方、具体的な事例及び今後の課題等について実務者の立場から紹介する。

2. 例会 ②部 『 ダンパー材を用いたV脚ラーメン橋の耐震補強について 』

1) 報告者

株式会社エース 技術3部 橋梁グループ 秦 康博 氏

2) 報告内容

連続V脚ラーメン橋やアーチ橋について、(粘性ダンパー+座屈拘束ブレース)を用いて耐震補強した事例を紹介する。V脚ラーメン橋や上路式アーチ橋の場合、大規模地震時において、部材耐力が不足すると同時に、直角方向の地震力により支承が浮き上がる問題が発生する。対策として、座屈しやすい部材を座屈防止ブレースに取り替えることなどにより補強すると同時に、エネルギー吸収能力を向上させて地震力を低減する工法が有効である。それを適用した場合の解析方法や得られた効果について事例を用いて紹介する。